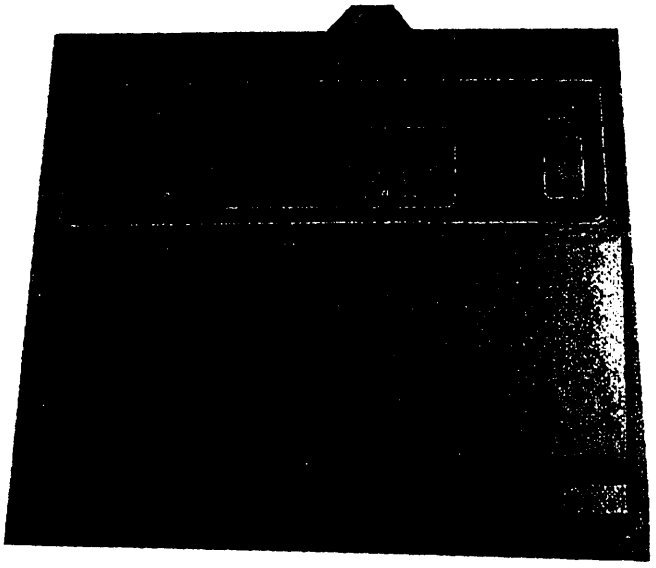
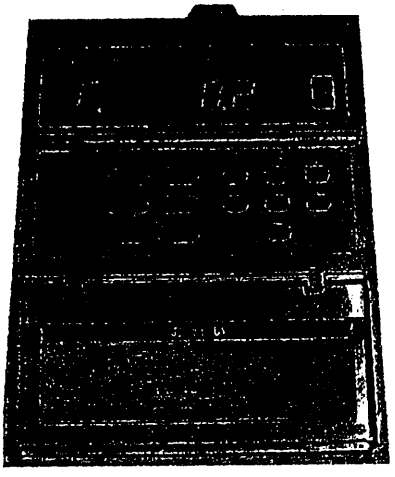
MITSUBISHI
三菱電機チリングユニット

チリングユニット用リモコン
RP－16CA
取扱説明書

CA(H)－P1180C～P3550C形
CA(H)－J1180C～J3550C形　用





EYNT－07731－1 A

このたびは，三菱電機チリング用リモコンRP－16CA形をお買い上げいただきまして，ありがとうございました。

RP－16CA形は，当社製チリングユニット（CA(H)－P1180C～P3550C／J1180C～J3550C形）用で，大形の表示部や操作ボタンの採用により，ユニットの遠隔操作の操作性を向上しました。

リモコンの設置，ならびに御使用の際は，機能を十分に発揮させるとともに，誤った使用により，運転に支障が出ないようにするため，この取扱説明書を前もって，ご一読下さるようお願いいたします。

<リモコンの保証について>
リモコン（RP-16CA形）の保証期間は，試運転，またはお引渡し後1年間です。

ただし，使用上の不注意，当社が指定した機器以外との接続，天災等の不可抗力，当社が指定する専門業者以外による取付や調整による故障や事故につきましては，この限りではありません。

保証内容の詳細については，リモコンを設置した販売店や設備工事業者にお尋ねください。

－ 目次 －

安全のために必ず守ること …… 3 ページ

Ⅰ. 概要

概要 …… 5 ページ

Ⅱ. チリングユニットの運転に関する操作

1. 運転モードの設定 …… 7 ページ

◇水温制御方法（入口水温制御，出口水温制御）の設定については，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板上のディップスイッチにて行います。詳しくは，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの取扱説明書をご覧ください。

2. 水温の設定方法 …… 7 ページ

3. 運転／停止 …… 8 ページ

4. 現在水温の表示 …… 9 ページ

5. 降雪時ファン運転制御 …… 9 ページ

6. デマンド制御 …… 9 ページ

7. スケジュールタイマー機能の設定 …… 11 ページ
◇現在時刻の設定 …… (12 ページ)

8. 蓄熱／通常切換 …… 14 ページ

9. データモニタ …… 16 ページ

10. 異常発生時の表示と操作 …… 17 ページ

11. 号機の切換 …… 18 ページ

12. 復電時の表示 …… 19 ページ

Ⅲ. リモコンの据付・立上げ

1. リモコンの据付と立上げ …… 20 ページ

Ⅳ. その他

1. リモコンの表示が出なくなったとき …… 24 ページ

＜付録＞ 修理・相談窓口のご案内

安全のために必ず守ること

- ご使用の前に，この「安全のために必ず守ること」をお読みの上，正しくご使用ください。
- ここでは，誤った取扱いをしたときに生じる危険と，その程度を次の表示区分により説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに，死亡や重傷等の重大な結果に至る恐れがあるもの。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに，傷害や家屋，家財の損害等の重大な結果に至る恐れがあるもの。

- お読みになった後は，チリングユニットの工事説明書，取扱説明書や，リモコンに付属する据付工事説明書と合わせて，お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は，本書を上記の各説明書とともに，いつでも見られるところに保管し，お使いになる方が代わる場合は，新しくお使いになる方に本書をお渡しください。
  また，移設，修理の際は，本書を工事をされる方にお渡しください。

⚠ 警　告

リモコンの据付けや移設は，電気工事士の資格をもつ販売店，または専門業者に依頼してください。
据付けに不備があると，感電や火災等の原因になります。

本体の据付け，チリングユニットとの配線は，本書と，リモコンに同梱の「据付工事説明書」の内容，ならびに「電気移設に関する技術基準」，「内線規定」に必ず従ってください。
据付けに不備があると，動作不良の原因となるばかりでなく，感電や火災等の原因になります。

お客様ご自身での，リモコンの分解，改造，修理は，絶対にしないでください。
動作不良の原因となるばかりでなく，感電や火災等の原因になります。
なお，修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 注　意

本体に水がかからないようにしてください。
感電や故障の原因になります。

スプレー等の可燃性ガス，酸やアルカリ等の腐食性の雰囲気中で使用しないでください。
性能低下，内部の部品破損，故障，感電の原因となるばかりでなく，周囲のガスへの引火による火災や爆発等の原因になります。

高温，多湿，結露するような環境下で使用しないでください。
感電や故障の原因になります。

濡れた手でボタンを操作しないでください。
感電や故障の原因になります。

先のとがったものでボタンを押さないでください。
感電や故障の原因につながることがあります。

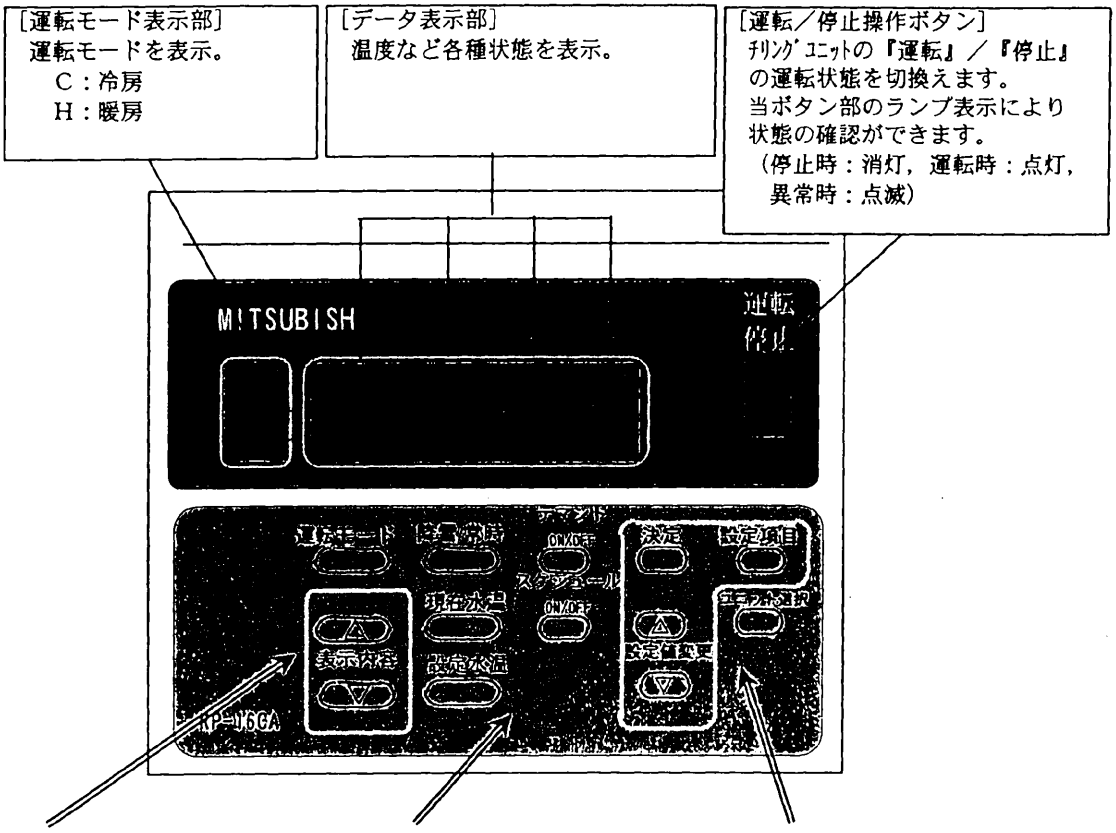
⚠ 注　意

本体の取付部にものをぶらさげたりする等，荷重がかからないようにしてください。
本体の破損や，動作不良につながることがあります。

本体の表面が汚れた場合の清掃は，柔らかい布や薄めた中性洗剤等を使用してください。
本体表面のキズや破損の原因につながることがあります。

Ⅰ. 概要

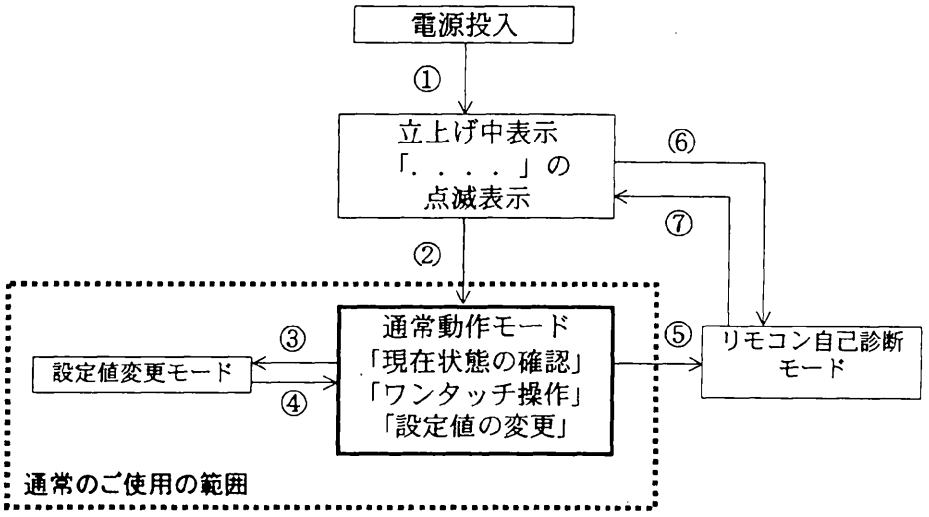
(1)表示・操作部



＜現在状態の確認＞	＜ワンタッチ操作＞	＜設定値の変更＞
[表示内容(△／▽)]ボタン モニタ項目のコードを変更します。ボタンを押す毎に，コードを順に送り，あるコードを表示したままとすると，対応するデータの表示となります。	[運転モード]ボタン ボタンを押す毎に『冷房』／『暖房』と運転モードを切換。 C：冷房，H：暖房 ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの運転"切"中のみモードの変更ができます。	[設定項目]ボタン 設定値のコードを切換えます。 1度押すと最も若いコードを表示し，さらに押す毎に順にコードを表示していきます。 ＊5秒間押し続けると，リモコン自己診断モードに入ります。
[現在水温]ボタン 現在の出口水温を表示します。	[降雪／常時]ボタン ボタンを1度押すと，現在のモードを表示します。 そのまま続けて押すと，モードを切換えます。	[設定値変更(△／▽)]ボタン 設定値のデータを変更する際に使用します。 ＊ボタンを押し続けると，データが早送りされます。
[設定温度]ボタン 現在の設定水温を表示します。	[デマンドON／OFF]ボタン ボタンを1度押すと，現在のモードを表示します。 そのまま続けて押すと，ON／OFFの状態を切換えます。	[決定]ボタン △／▽ボタンで変更した設定値の値を決定する場合に押します。
	[スケジュールON／OFF]ボタン ボタンを1度押すと，現在のモードを表示します。 そのまま続けて押すと，ON／OFFの状態を切換えます。	[ユニット選択]ボタン ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄが複数台接続されている際，号機(アドレス)No.を切換える場合に押します。

(2)動作モードの遷移状態

リモコンの動作状態は，以下のようになります。



①: 電源投入→立上げ中表示
リモコンが復電すると，自動的に立上げ中表示となり，リモコンの動作に必要な内部データをチリングユニットの基板側との通信処理を通してセットします。

②: 立上げ中表示→通常動作モード
上記①の立上げ処理が完了すると，運転モード(C，またはH)が表示されます。
この際，データ表示部には何も表示されませんが，[表示内容(△／▽)]ボタンの操作によって，リモコンで操作が行われなかった場合の表示内容を選ぶことができます。

③: 設定値の変更操作
[設定項目]ボタンを押すと，設定値のコード表示が切換り，設定値を変更するためのモードに入ります。

④: 設定値変更モード→通常動作モードへの復帰
次のいずれかによって，設定値変更モードを抜けて，通常動作モードへ戻ります。
(a) [決定]ボタン，[設定項目]，[設定値変更(△／▽)]以外のボタンを押したとき。
(b) 何もボタンを押さない状態が，約1分間以上続いたとき。

[注] 変更された設定値が有効となるのは，[決定]ボタンが押されたときのみです。
それ以外は，変更途中の値はキャンセルされます。

⑤: リモコン自己診断モード
⑥: [設定項目]ボタンが約5秒以上続けて押されたときに，リモコンの自己診断モードに入ります。
ここでは，リモコン内部の通信やデータの状態に関するチェックを行います。

[注] 通常の使用時には，操作しないでください。

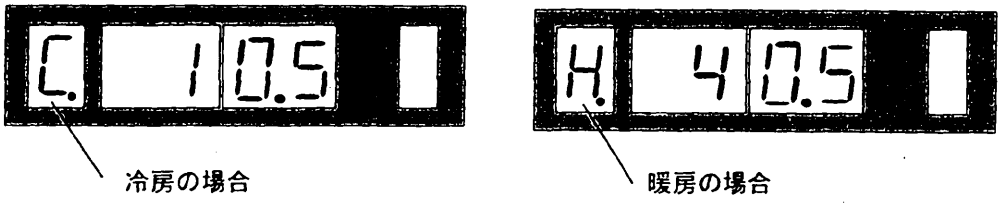
なお，自己診断モードに入った場合，その直前の操作，設定状態で，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄは動作を継続します。

⑦: リモコン自己診断モードの解除
上記⑤(または⑥)の自己診断モードに入っている場合に，[設定項目]ボタンが約5秒以上続けて押されたときに，リモコンの自己診断モードを解除します。
自己診断モードの解除後は，自動的に立上げ中表示となり，電源投入後と同じ状態になります。
この間，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの運転状態は自己診断モードに入る直前の状態を継続します。

Ⅱ. チリングユニットの運転に関する操作

1. 運転モードの設定

ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの運転モードは，下図のように，冷房の場合"C"，暖房の場合"H"で表示されます。



[運転モード]ボタンを押すことにより，冷房，暖房のモードを切換えることができます。

[注] 運転モード(冷房，暖房)の切換えは，必ずﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの運転を"切"の状態にしてから行ってください。ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの運転が"入"の場合，ボタン操作は無視されます。

2. 水温の設定方法

(1)ワンタッチ操作による現在の設定値の表示

[設定水温]ボタンを押すと，現在の設定水温を表示します。

設定水温の表示例

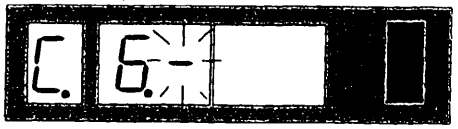
(2)設定値の変更

(操作前の表示例)

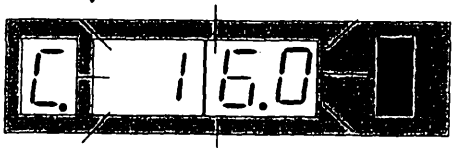
[設定項目]ボタンを押すと，
設定値のコードの表示に変わります。

コード6の表示例

放置(*)します



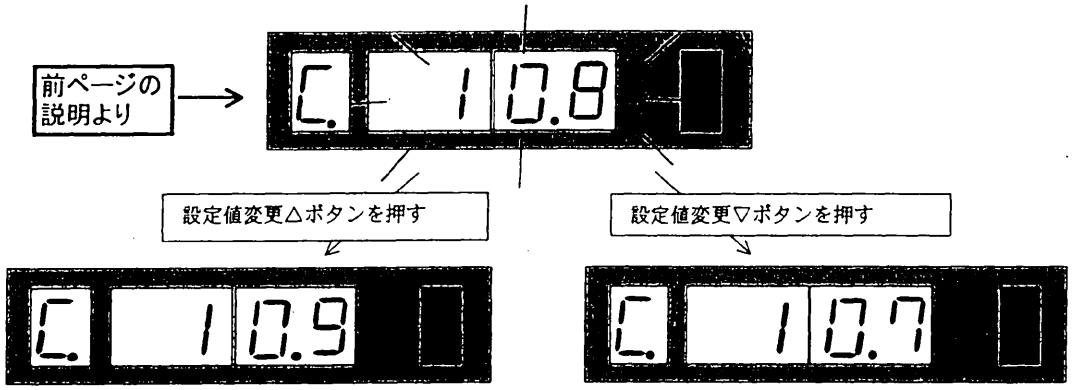
さらに放置(*)します



＊コード7の場合は，上記で再度
[設定項目]ボタンを押します。

(*)：この間，ﾘﾓｺﾝから基板に対して
現在設定されている値を照会
してから，結果を表示します。

次ページの説明へ



設定値変更の△，または▽ボタンを押す毎に，0．1[℃]ずつ値が変化します。
また，△，▽のボタンを押し続けると，値が早送りされます。

値を決定する場合は，必ず[決定]キーを押してください。

各設定値の詳細については，「ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの取扱説明書の設定値・モニター覧」表を参照ください。

ｺｰﾄﾞ No.	リモコンでの設定値内容		左記に対応するﾁﾘﾝｸﾞ ﾕﾆｯﾄ側の設定値項目	設定値 記入欄
6	設定水温1[℃]	(冷房時)	遠方通常時冷房目標温度	
		(暖房時)	遠方通常時暖房目標温度	
7	設定水温2[℃]	(冷房時)	遠方蓄熱時冷房目標温度	
		(暖房時)	遠方蓄熱時暖房目標温度	

＜全ての設定操作時に共通のご注意＞

[1] 設定値変更の各ボタン操作は，上図の流れに沿って，間を置かずに行ってください。
なお，上図の操作の途中で，次のようになった場合は，設定値変更のモードがキャンセルされますので，もう一度はじめから操作をやり直してください。
・途中の状態で約1分間以上，ボタンを操作しなかった場合。
・[設定項目]以外の他のボタンを押した場合。

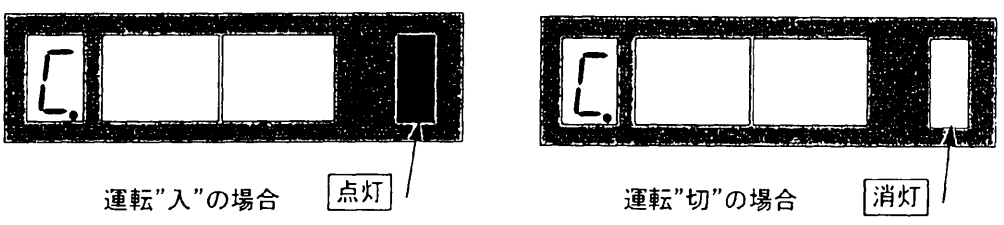
[2] [設定項目]ボタンを押す際は，ボタンを(約2～3秒以上)押し続けないでください。
＊リモコンの自己診断モードに入るため，設定操作ができなくなります。

もし，自己診断モードになってしまった(データ表示部に"R.C.00"等の表示が出た)場合は，再度[設定項目]ボタンを約5秒以上押し続けると，自己診断モードを終了して，復電時と同じ状態となりますので，その後は通常通りご使用になれます。

3．運転／停止

チリングユニットへの運転の入／切の操作は，リモコンの右上部の"運転／停止"ボタンを押します。
ボタンを押す際は，1秒程度押し続けてください。(誤操作防止のための機能です。)

運転／停止の操作に伴って，操作ボタン部が点灯／消灯します。



4. 現在水温の表示

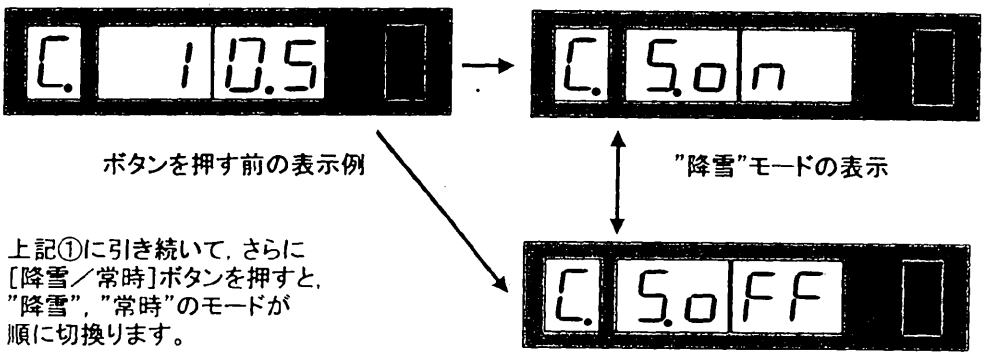
[現在水温]ボタンを押すと，現在の出口水温を表示します。

出口水温の表示例

＊現在の入口水温の表示方法については，後述の「データモニタ」の項をご覧ください。

5. 降雪時ファン運転制御

① [降雪／常時]ボタンを1回押すと，現在の降雪，または常時の操作状態が表示されます。



ボタンを押す前の表示例

"降雪"モードの表示

② 上記①に引き続いて，さらに
[降雪／常時]ボタンを押すと，
"降雪"，"常時"のモードが
順に切換ります。

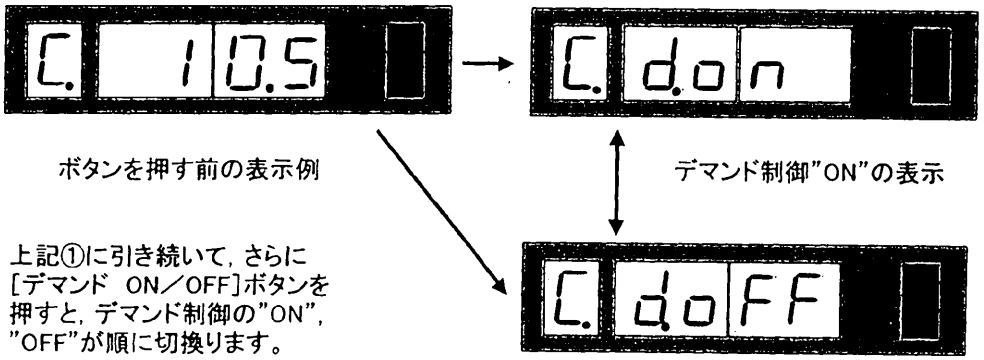
"常時"モードの表示

[注] ここでモードを"降雪"とすると，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄは
"降雪時ファン運転制御"を開始します。
（詳細は，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの取扱説明書をご覧ください）

6. デマンド制御

(1)デマンド制御のON／OFFの切換

① [デマンド ON／OFF]ボタンを1回押すと，現在のデマンド制御のON／OFFの状態が表示されます。



ボタンを押す前の表示例

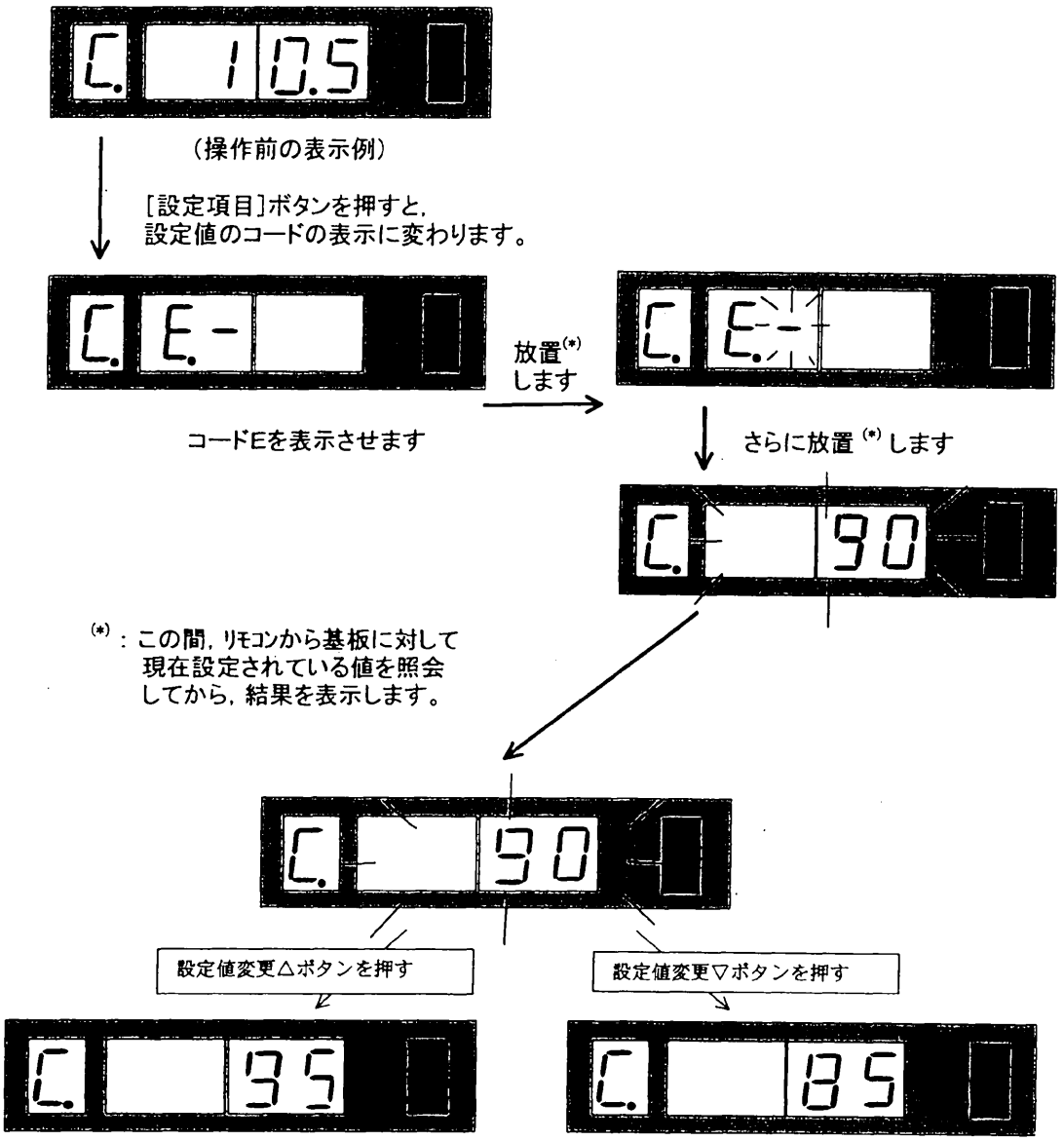
デマンド制御"ON"の表示

② 上記①に引き続いて，さらに
[デマンド ON／OFF]ボタンを
押すと，デマンド制御の"ON"，
"OFF"が順に切換ります。

デマンド制御"OFF"の表示

[注1] ここでモードを"ON"とすると，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄは"デマンド制御"を開始します。
（詳細は，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの取扱説明書をご覧ください）
[注2] デマンドのON／OFFの切換は，むやみに行わないでください。
ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの運転状態によっては，複数のﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄが同時起動する恐れがあります。
（通常の運転／停止の操作時には，複数のﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄがある場合，順次起動します。）

(2)デマンド設定値の変更



設定値変更の△,または▽ボタンを押す毎に,1[%]ずつ値が変化します。
また,△,▽のボタンを押し続けると,値が早送りされます。

値を決定する場合は,必ず[決定]キーを押してください。

[注] ①値を設定する場合は,5[%]刻みの値で行ってください。
(ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ側が5%刻みの値でのみ受付けるため)
②5で割り切れない数値を表示したまま[決定]ボタンを押した場合,
端数は切り捨てられて設定されます。
③デマンド制御時には,設定した値が5～54[%]の場合は圧縮機
2台停止,55～99[%]の場合は圧縮機1台停止となりますが,
詳しくはユニットの取扱説明書をご覧ください。

各設定値の詳細については,「ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの取扱説明書の設定値・モニター覧」表を参照ください。

ｺｰﾄﾞNo.	リモコンでの設定値内容	左記に対応するﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ側の設定値項目	設定値記入欄
E	デマンド上限値[%]	デマンド上限値	

<全ての設定操作時に共通のご注意>
[1] 設定値変更の各ボタン操作は，上図の流れに沿って，間を置かずに行ってください。
なお，上図の操作の途中で，次のようになった場合は，設定値変更のモードがキャンセルされますので，もう一度はじめから操作をやり直してください。
・途中の状態で約1分間以上，ボタンを操作しなかった場合。
・[設定項目]以外の他のボタンを押した場合。

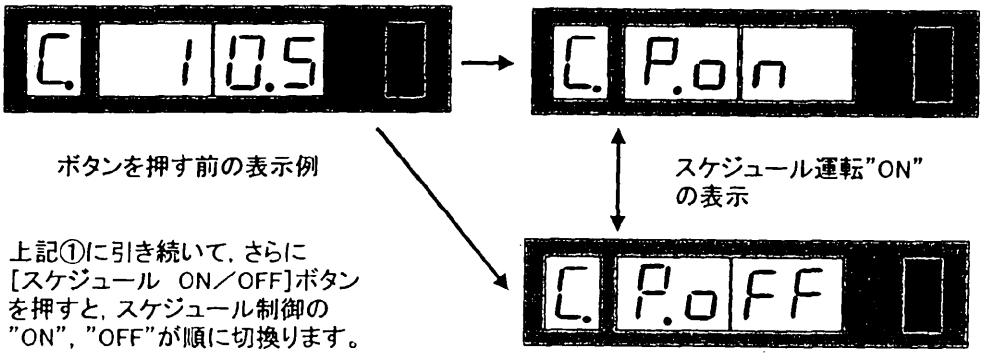
[2] [設定項目]ボタンを押す際は，ボタンを(約2～3秒以上)押し続けないでください。
＊リモコンの自己診断モードに入るため，設定操作ができなくなります。

もし，自己診断モードになってしまった(データ表示部に"R.C.00"等の表示が出た)場合は，再度[設定項目]ボタンを約5秒以上押し続けると，自己診断モードを終了して，復電時と同じ状態となりますので，その後は通常通りご使用になれます。

7. スケジュールタイマー機能の設定

(1)タイマーのON／OFFの切換

① [スケジュール ON／OFF]ボタンを1回押すと，現在のスケジュール運転のON／OFFの状態が表示されます。



ボタンを押す前の表示例

スケジュール運転"ON"の表示

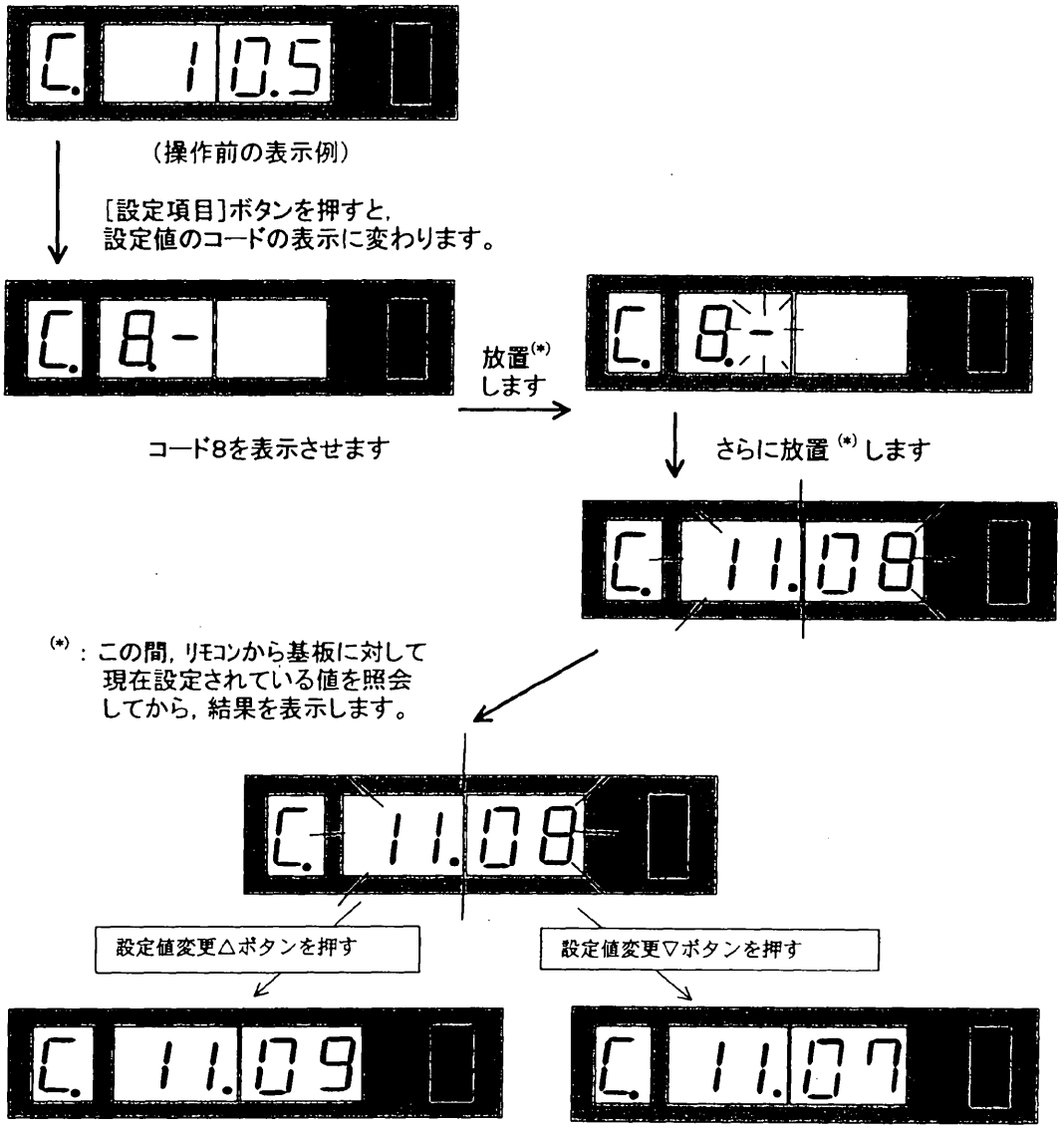
② 上記①に引き続いて，さらに[スケジュール ON／OFF]ボタンを押すと，スケジュール制御の"ON"，"OFF"が順に切換ります。

スケジュール運転"OFF"の表示

[注] ここでモードを"ON"とすると，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄは"スケジュール運転"を開始します。
(詳細は，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの取扱説明書をご覧ください)

(2)各時刻の変更

①現在時刻の変更



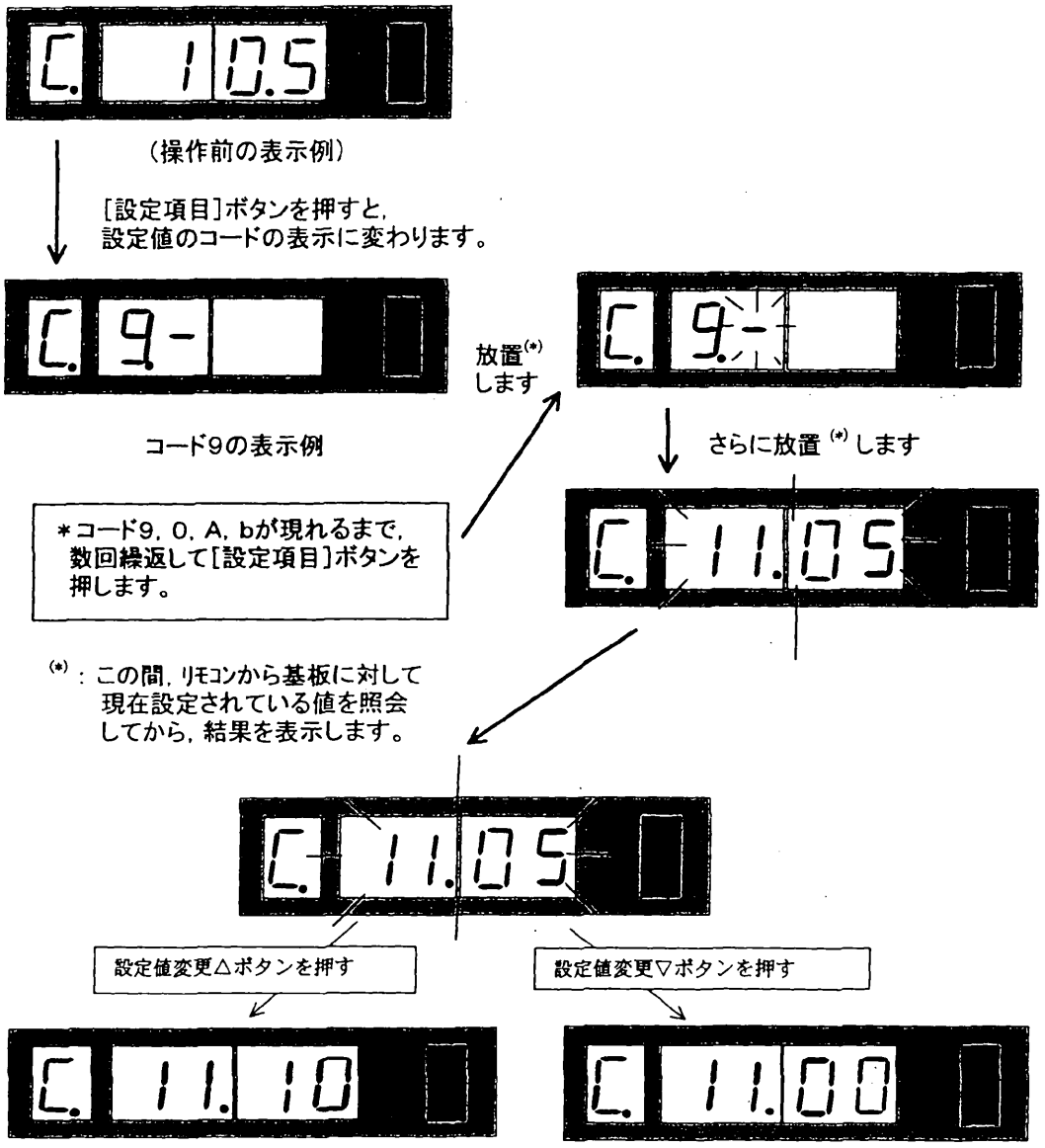
設定値変更の△,または▽ボタンを押す毎に,値が1分単位で変化します。
また,△,▽のボタンを押し続けると,値が早送りされます。

<u>値を決定する場合は,必ず[決定]キーを押してください。</u>

各設定値の詳細については,「ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの取扱説明書の設定値・モニター覧」表を参照ください。

ｺｰﾄﾞNo.	リモコンでの設定値内容	左記に対応するﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ側の設定値項目	設定値記入欄
8	現在時刻	時計	

②運転1開始時刻(スケジュール)，運転1終了時刻(スケジュール)，
運転2開始時刻(スケジュール)，運転2終了時刻(スケジュール)



設定値変更の△，または▽ボタンを押す毎に，値が5分単位で変化します。
また，△，▽のボタンを押し続けると，値が早送りされます。

<u>値を決定する場合は，必ず[決定]キーを押してください。</u>

各設定値の詳細については，「ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの取扱説明書の設定値・モニター一覧」表を参照ください。

ｺｰﾄﾞ No.	リモコンでの設定値内容	左記に対応するﾁﾘﾝｸﾞ ﾕﾆｯﾄ側の設定値項目	設定値 記入欄
9	運転入時刻1(スケジュール)	スケジュール入　1回目	
0	運転切時刻1(スケジュール)	スケジュール切　1回目	
A	運転入時刻2(スケジュール)	スケジュール入　2回目	
b	運転切時刻2(スケジュール)	スケジュール切　2回目	

＜全ての設定操作時に共通のご注意＞
[1] 設定値変更の各ボタン操作は，上図の流れに沿って，間を置かずに行ってください。
なお，上図の操作の途中で，次のようになった場合は，設定値変更のモードがキャンセルされますので，もう一度はじめから操作をやり直してください。
・途中の状態で約1分間以上，ボタンを操作しなかった場合。
・[設定項目]以外の他のボタンを押した場合。

[2] [設定項目]ボタンを押す際は，ボタンを(約2～3秒以上)押し続けないでください。
＊リモコンの自己診断モードに入るため，設定操作ができなくなります。

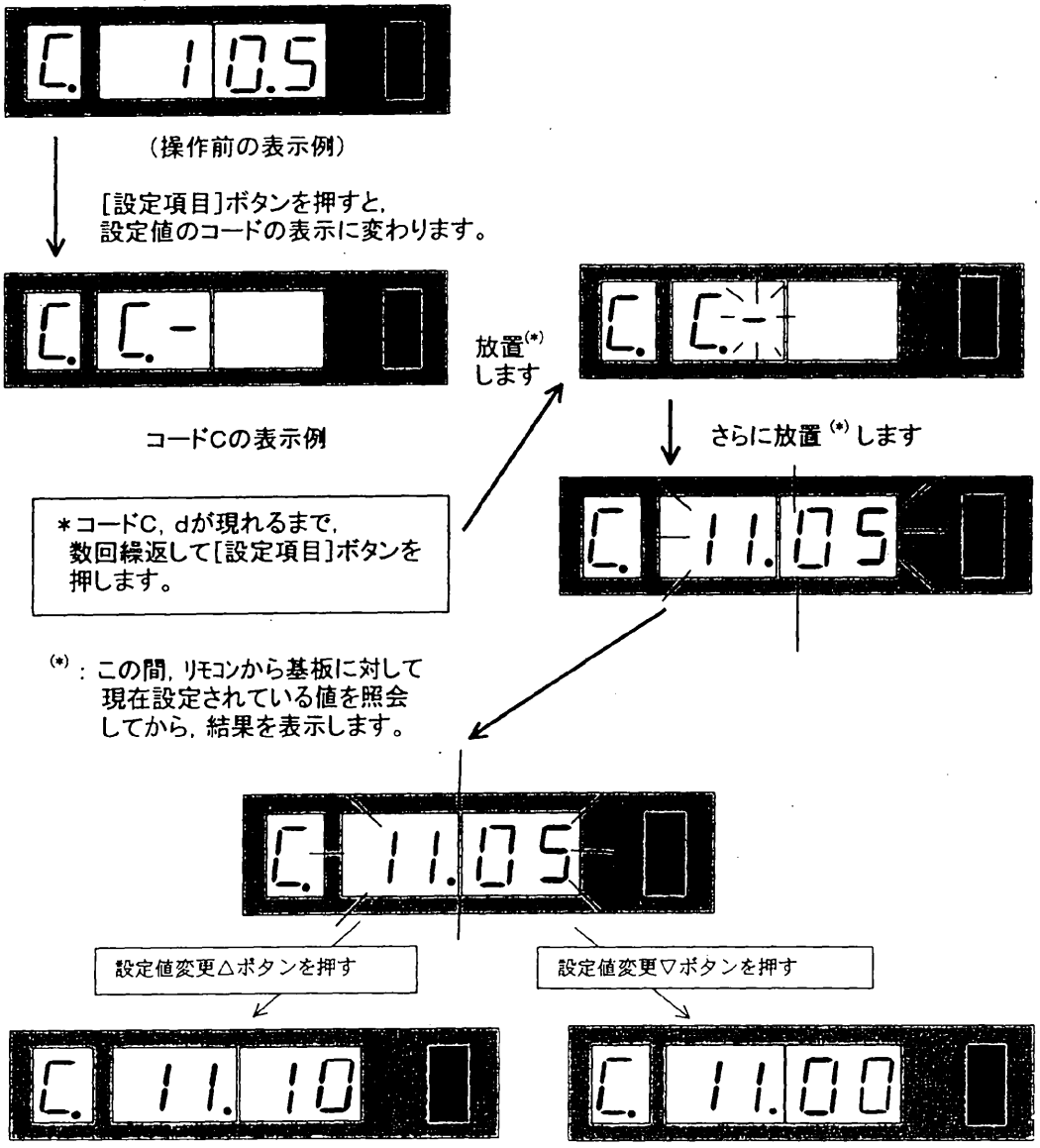
もし，自己診断モードになってしまった(データ表示部に"R.C.00"等の表示が出た)場合は，再度[設定項目]ボタンを約5秒以上押し続けると，自己診断モードを終了して，復電時と同じ状態となりますので，その後は通常通りご使用になれます。

8. 蓄熱／通常切換

(1)水温の設定

先述の「水温の設定方法」の項を参照のうえ，設定を行ってください。

(2) 設定水温2切替時刻，設定水温1切替時刻の設定



(次ページにつづく)

（前ページより）

設定値変更の△，または▽ボタンを押す毎に，値が5分単位で変化します。
また，△，▽のボタンを押し続けると，値が早送りされます。

値を決定する場合は，必ず[決定]キーを押してください。

各設定値の詳細については，「ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの取扱説明書の設定値・モニター覧」表を参照ください。

ｺｰﾄﾞ No.	リモコンでの設定値内容	左記に対応するﾁﾘﾝｸﾞ ユニット側の設定値項目	設定値 記入欄
C	設定水温2開始時刻	スケジュール蓄熱入	
d	設定水温1開始時刻	スケジュール蓄熱切	

＜全ての設定操作時に共通のご注意＞

[1] 設定値変更の各ボタン操作は，上図の流れに沿って，間を置かずに行ってください。
なお，上図の操作の途中で，次のようになった場合は，設定値変更のモードがキャンセルされますので，もう一度はじめから操作をやり直してください。
・途中の状態で約1分間以上，ボタンを操作しなかった場合。
・[設定項目]以外の他のボタンを押した場合。

[2] [設定項目]ボタンを押す際は，ボタンを(約2～3秒以上)押し続けないでください。
＊リモコンの自己診断モードに入るため，設定操作ができなくなります。

もし，自己診断モードになってしまった(データ表示部に"R.C.00"等の表示が出た)場合は，再度[設定項目]ボタンを約5秒以上押し続けると，自己診断モードを終了して，復電時と同じ状態となりますので，その後は通常通りご使用になれます。

9. データモニタ

データモニタ機能により，以下の表のデータの表示が行えます。

＜モニタ値コード表＞

コードNo.	内　容
1	現在の入口水温[℃]
2	現在の出口水温[℃]
3	外気温度[℃]
4	ユニット接続数[台]
5	現在の制御水温[℃]
F	4桁LED消灯
H	全LED消灯

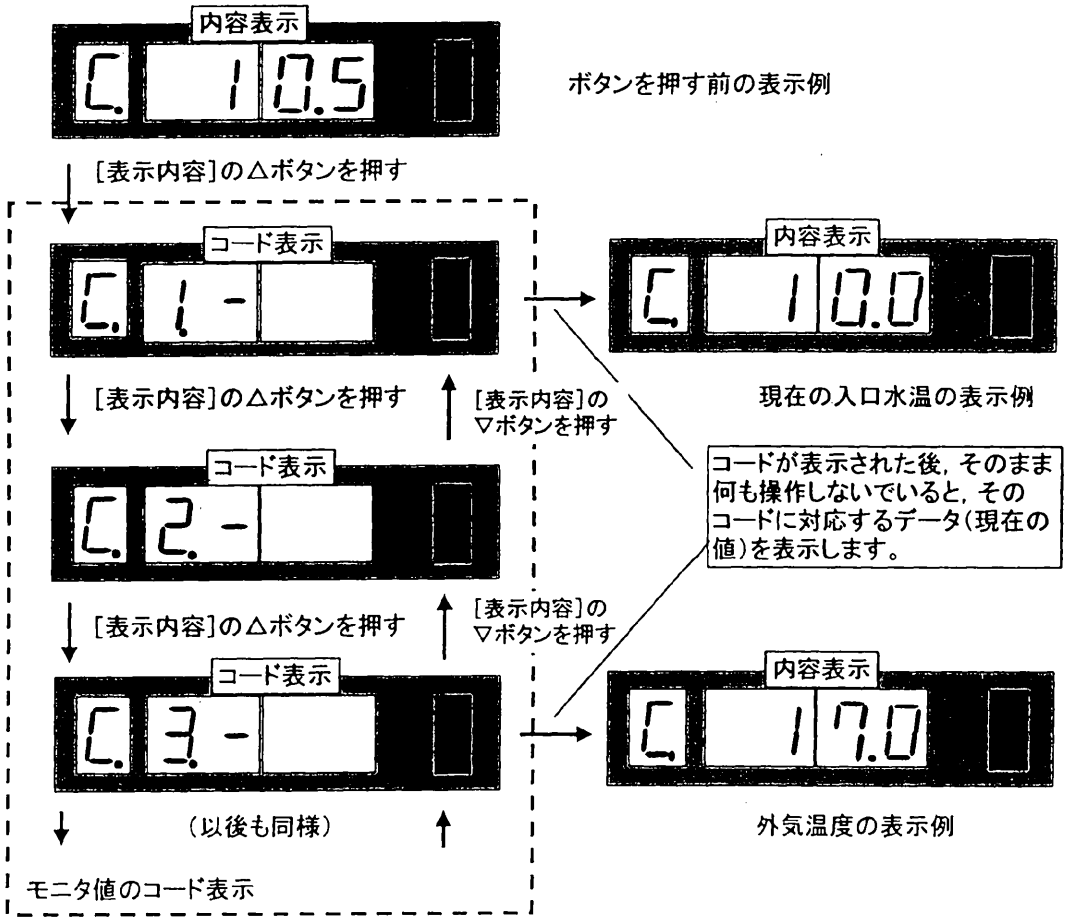
[注] ①外気温度は，現在の外気温度を表示します。

②ユニット接続数は，リモコンが接続されているﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの台数となります。

③コード"F"（4桁LED消灯）を選択すると，データ表示部のLEDの表示が出なくなります。
（復電直後と同じ表示状態）

④コード"H"（全LED消灯）を選択すると，ﾃﾞｰﾀ表示部の内容に加えて，運転モード（C，またはH）の表示も出なくなります。

モニタ値の表示は，[表示内容]ボタンの△ボタン，または▽ボタンを押します。



＜無操作時の表示＞

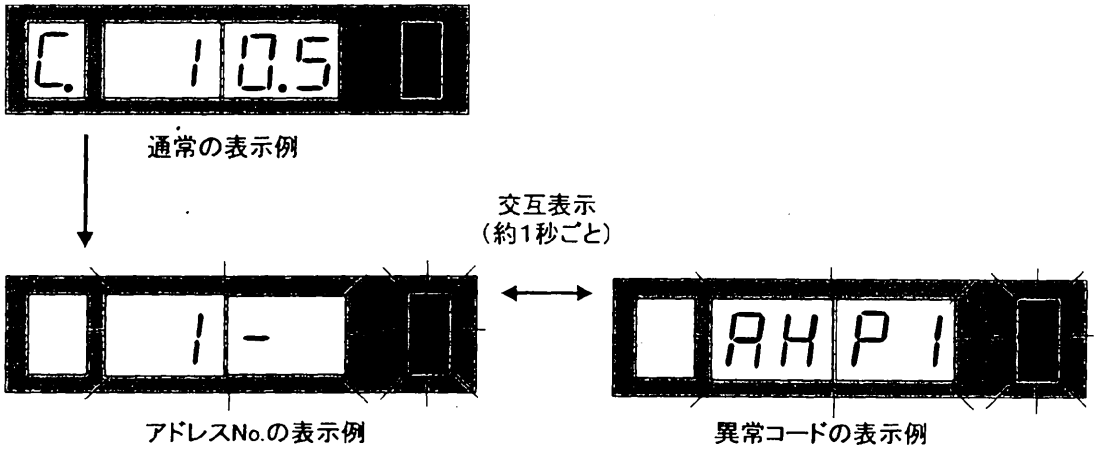
無操作時の表示項目を決めるときは，上記操作によってモニタ値を表示した後，そのままにしておけばよいです。

この場合，[降雪／常時]，[デマンド　ON／OFF]，[スケジュール　ON／OFF]，[設定項目]の各ボタンの操作が行われた場合，ボタンが操作されなくなって約1分間経過した後，自動的に上記で選択されたモニタ項目に対応する現在の値の表示に戻ります。

10. 異常発生時の表示と操作

(1) 異常の表示

ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄに関する異常が発生した際は，アドレス(号機)No. と異常コードを表示します。
異常の表示時には，アドレスNo.，異常コード，運転／停止ボタン部は点滅表示します。



表示される異常コードと，それに対応する異常内容

・チリングユニットに関する異常。
→「チリングユニット本体の取扱説明書の異常コード一覧」の表をご参照ください。

・リモコンの通信に関係する異常。
→ 次の内容となります。なお，これらの異常コードが表示された場合は，お買上の販売店，設備工事店等にご連絡ください。

6831	:	受信なし異常
6832	:	同期回復異常
6833	:	通信ハードウェア異常
6834	:	スタートビット検出異常

ほぼ同時に複数個の異常が発生した場合は，約30秒おきに順次発生した異常コードを表示していきます。

(2) 異常の復旧方法

リモコンで異常の表示が出た場合は，以下の方法にて復旧を行ってください。
なお，複数台のチリングユニットが接続されている場合は，異常が発生したチリングユニットのみで，下記の処置を行ってください。

① ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板上で表示されている異常コードの内容を確認します。
② ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの取扱説明書の「異常リセット」の「手元リセット」の方法により，異常状態を復旧します。
③ ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板上のロータリスイッチ(SW09)を"4"の位置に戻します。
ロータリスイッチ(SW09)は基板上の中央部にありますが，位置は21ページの基板見取図をご覧ください。
④ リモコン上の「運転／停止」ボタンを押します。
異常状態が解消されていれば，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄは通常どおりの運転ができます。

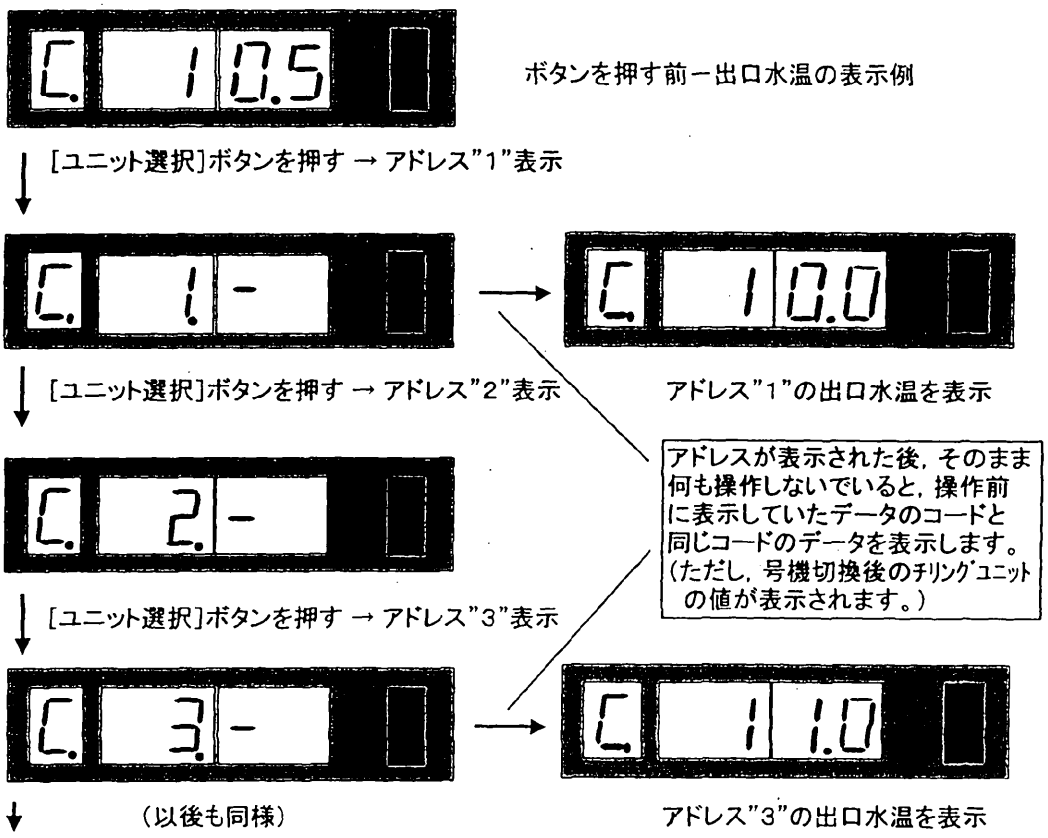
＊リモコンの異常表示は，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ側で異常状態が解消された後に消えます。

＊ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄで遠方リセット"あり"の状態でご使用になられている場合は，リモコンでの異常表示直後に，リモコンの運転／停止ボタンを押すことにより，異常リセット操作となります。
ただし，異常状態の原因が除去されていなければ，再び異常表示が出ます。
異常表示が続く場合は，異常内容(表示コード)をご確認のうえ，お買上の販売店，設備工事店等にご連絡ください。

11. 号機の切換

リモコンを複数台のﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄと接続して使用されている場合，各ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ個別にモニタや設定値の確認や変更ができますが，その前に操作する号機(アドレスNo.)の切換操作が必要です。

操作するﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄのアドレスNo. の選択は，[ユニット選択]ボタンを押して行います。

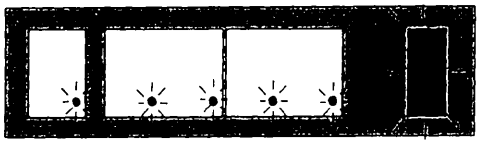


上記によるﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄのアドレスNo. (号機)の切換後は，[表示内容]の△ボタン，または▽ボタンの操作によるモニタ値の表示や，[設定項目]，[設定値変更](△ボタン，▽ボタン)，[決定]の各ボタンの操作による設定値の変更が可能です。

[注] 以下の操作．設定については，リモコンが接続されている全チリングユニットに同時に適用されますので，各チリングユニットに個別に行うことはできません。
(1) 運転／停止ボタンによるﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの運転入／切操作や，ワンタッチ操作ボタンによる次の各操作。
→ 運転モード(冷房／暖房)切換，降雪／常時切換，デマンドON／OFF切換，スケジュールON／OFF切換
(2)現在時刻，スケジュール時刻の設定。
スケジュール時刻の設定とは，運転1開始時刻，運転1終了時刻，運転2開始時刻，運転2終了時刻のことです。

12. 復電時の表示

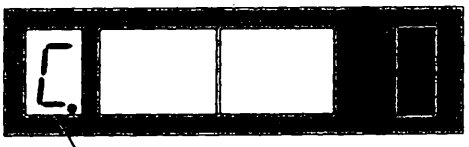
(1) リモコンに電源が投入されると，自動的に立上げ中表示となります。



立上げ中表示

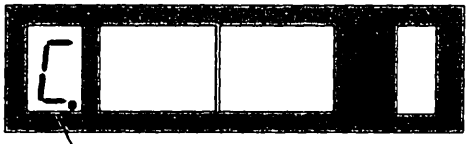
＊立上げ中表示の間は，リモコンの通常動作に必要なデータをチリングユニットの基板との通信処理によりセットします。

(2) 立上げ処理が完了すると，自動的に下図のような表示となります。



C:冷房，H:暖房

チリング゛ユニットが停電自動復帰"あり"で，運転"入"となっていた場合



C:冷房，H:暖房

左記以外の場合

＊チリング゛ユニットで停電自動復帰"なし"の状態でご使用の場合は，復電の際，立上げ中表示の終了後に，「停電異常」で発報しますが，このときリモコンでも「停電異常」の"A－PO"表示を行います。

Ⅲ. リモコンの据付・立上げ

1. リモコンの据付と立上げ

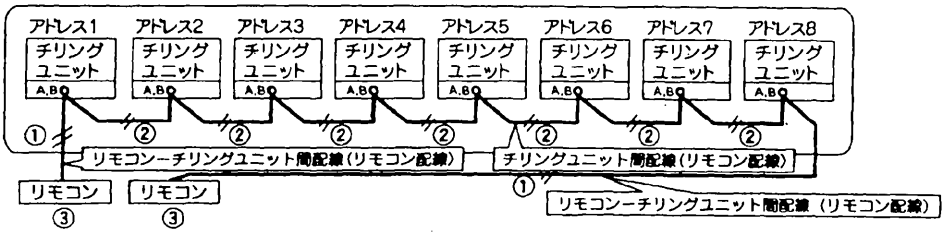
以下の手順に沿って行ってください。

なお，リモコンの「据付工事説明書」や，チリングユニットの「取扱説明書」も合わせて御参照のうえ，作業を行ってください。

(1)リモコン線の配線
(2)チリングユニット相互間の配線

チリングユニット相互間の配線は，同じリモコンからの伝送線を，複数台のチリングユニットへ接続する場合に必要となります。

図中①～③は以下の説明文①～③と対応していますのでご確認ください。



※アドレスの設定はユニットの設定スイッチにて行います。
（詳細はユニットの据付説明書をご覧ください。）
※□で囲まれた部分の全ユニットを一括制御します。

①リモコンからの配線
- チリングユニットのA,B（リモコン用端子台）へ接続します。（極性はありません）
- リモコンはアドレス１のチリングユニットからのみ、給電を受け動作します。

②複数のチリングユニットを同時に制御する場合の配線
- チリングユニットのA,B（リモコン用端子台）間をリモコン線にて渡り配線を行います。
- チラー用リモコンは、最大８台までのチリングユニットを一括制御可能です。

③接続可能リモコン台数
２台まで接続できます。（上図のように別々のユニットへ接続して構いません。）

④伝送線の配線の種類と総延長（①、②について）
- 線径――0.3～1.25mm²の2芯ケーブルを現地にて調達するか別売品をお求めください。（作業上、0.75mm²までを推奨します。）
- 線種――「①リモコンからの配線」の場合…VCTF、VCTFK、CVV、CVS、VVR、VVF、VCTを推奨します。
  「②複数のチリングユニットを同時に制御する場合の配線」の場合…VCTF、VCTFK、CVV、CVS、VVR、VVF、VCTまたは、シールド線（CVVS、CPEVS）を推奨します。
- リモコン配線の総延長――最大250mまでです。（図中の全ての①、②を合計した長さです。）

《ご注意》

機器の運転に支障のないように、リモコン線や各通信線は現地にて動力線などからの外来ノイズを受けにくい状態で、配線施工してください。
その為、現地側での配線施工に際しては、次の点にもご確認ください。

①ユニットの主回路線（AC200V、AC400V等）や、制御線（AC200V、AC100V等）、あるいはインバータやファンコントローラの二次側線等の強電線と束ねて、あるいは平行に配線しないでください。
（やむを得ず、これらの強電線と並行な配線となる場合、40cm以上離してください。）

②強電線と交差させる場合は、直交させるようにし、また互いの線は、できるだけ離してください。

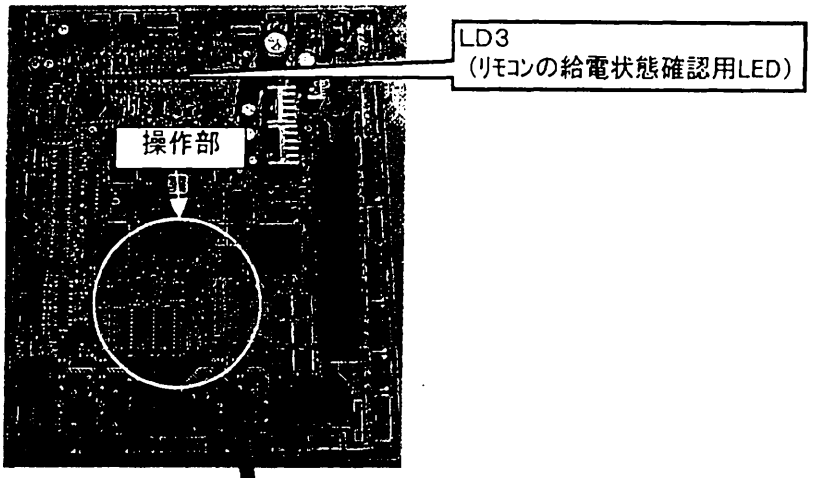
> ⚠ 注意　リモコン－チリングユニット間、チリングユニット間通信が出来なくなり、チリングユニットの制御ができなくなり故障の原因となることがあります。

③通信線を架空配線にて敷設しないでください。
（このような場合は、電線管に収納して埋設する等の方法にて敷設ください。）

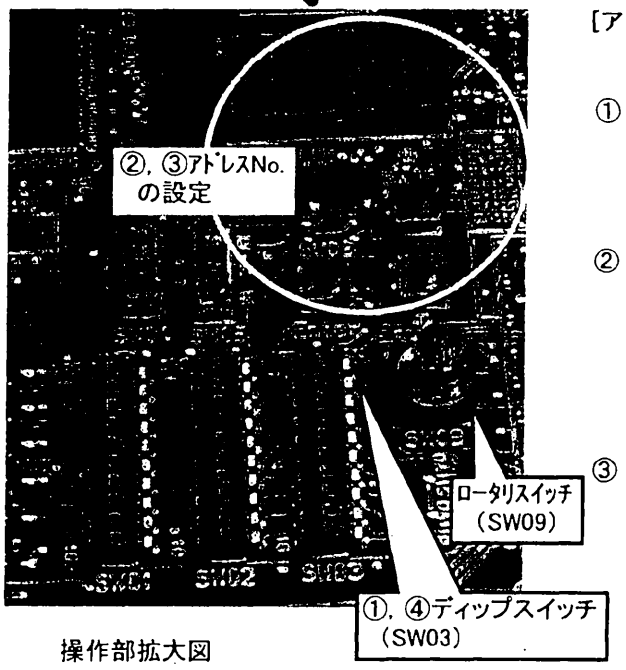
> ⚠ 注意　落雷とその伝播により、ユニットに内蔵されている電子基板を焼損し、破壊、発火、火災の原因になることがあります。

(3)各ユニット号機の設定

リモコンとチリングユニット間の通信時に，各機器の存在を認識させるため，チリングユニットで「アドレスNo.」の設定を行います。<u>リモコンは常時，アドレス1のユニットから給電を受けて動作します。</u>



基板全体図



操作部拡大図

[アドレスNo.の設定方法]

＊チリングユニットの基板で設定します。

① ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板上のディップスイッチを変更します。
SW03　1，2番をともにON，3番をOFFにします。

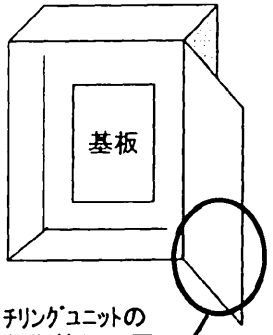
② コード1がアドレスNo.の設定項目ですので，値の確認や変更をします。
この方法は，チリングユニット本体の他の設定方法と同じですので，チリングユニットの「取扱説明書の運転操作」のところをご参照ください。

③ アドレスNo.のつけ方
a)リモコンを接続するチリングユニットが1台の場合
ｱﾄﾞﾚｽNo.は，必ず"1"にしてください。

b)リモコンを接続するチリングユニットが複数台の場合
各機のアドレスNo.が1～8の範囲で，重複がないように設定してください。
また，ｱﾄﾞﾚｽNo."1"は，必ずいずれかのﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄに設定してください。

④ 上記①で変更した基板上のﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁを元に戻します。
(SW03の1～3番まで，全てOFF)
次ページに示す方法により，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板の電源リセットを行ってください。

(4)電源の投入

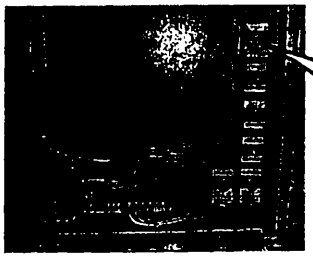


ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの
制御箱見取図

a) 上記(3)項で，アドレスNo.を変更した場合は，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板の電源を一旦切ります。

＊ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ本体の制御箱(ドア裏側)の"常時／メグ耐圧・緊急停止"スイッチを"常時／メグ耐圧・緊急停止"側にすることによって，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板を含む操作回路のみの電源を切ることができます。

b) リモコンを複数台のﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄと接続していて，アドレスNo.を2～8に設定したチリングユニットがある場合，これらのチリングユニットの基板上のロータリスイッチ(SW09)を"4"の位置に変更します。
その後，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板を復電させます。



ドアの裏側　見取図

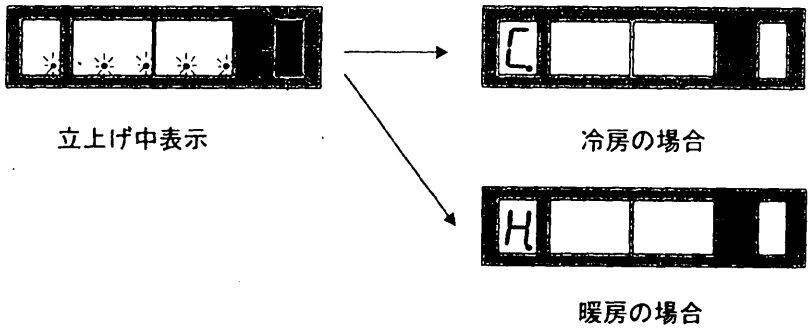
c) 最後に，アドレスNo.を"1"に設定したチリングユニットを復電させます。リモコンは復電時の表示となります。
さらに，このチリングユニットのロータリスイッチ(SW09)を"4"の位置に変更した時点で，リモコンからの操作が有効となります。

＊ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板のロータリスイッチ(SW09)の位置は，前ページの基板の各図をご覧ください。

＜ご注意＞ アドレスNo.を変更した場合は，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板の電源リセットを行った後に，その値が有効になります．

(5)立上げ作業の完了

これまでの作業により，リモコンの表示が"立上げ中表示"(ドットの点滅表示)を経て，
運転モード(C，またはH)の表示が出れば，リモコンの立上げ作業は完了となり，通常の使用が可能になります。



立上げ中表示　　冷房の場合

暖房の場合

◆リモコンの表示部に立上げ中表示が出ないとき

次の事項を再度チェックしてください。

＊以下の説明で触れているスイッチ類の位置については，前ページの(ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの)基板見取図，ならびに制御箱内のドアの裏側の見取図でお確かめください。

(1) 配線の接続状態，各ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ号機(アドレス)の設定，基板上のロータリスイッチの位置の確認 → 前記(1)～(4)項で示している内容となっているか確認します。

(2) チリングユニットの基板上のLED(LD3)の点灯状態を確認します。

→ LD3が消灯している場合
上記(1)項の内容に間違いがなければ，一旦ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板の電源を切り，再度投入します。
＊ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの制御箱の"常時／メグ耐圧・緊急停止"スイッチで行います。

ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板電源の再投入後，LD3が消灯したままの場合は，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板からリモコンまでの配線が短絡(ｼｮｰﾄ)している恐れがあります。
→ 確認後，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板の電源を切り，再投入します。

◆部品交換等のサービス時のお願い

サービス対応等で，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの基板交換やプログラムROMの交換を行った場合は，リモコンが接続される全てのﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄについて，アドレスNo.の設定状態を再度確認してください。
アドレスNo.の設定状態が初期値のままになっていると，リモコンが動作しないことがあります。

また，チリングユニットの基板やプログラムROMはそのままで，サービス対応等でリモコンのみを交換する場合は，チリングユニットの電源を切ってから，リモコンとチリングユニット間の配線を行い，チリングユニットを復電させれば，前と同じ状態で使用できるようになります。

Ⅳ. その他

1. リモコンの表示が出なくなったとき

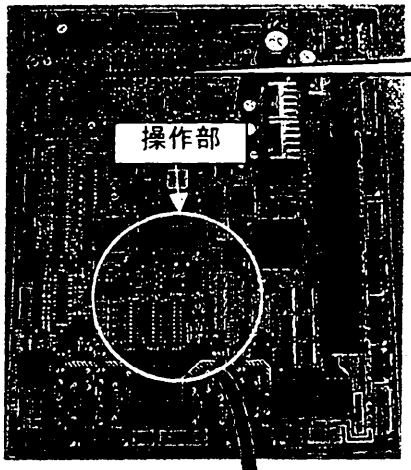
リモコンの表示が出ず，ボタンを操作しても表示が消えたままの場合は，線が断線，またはショートしたことが考えられます。

この場合，リモコンからチリングユニットに対する操作はできなくなりますが，チリングユニットは線が断線，またはショートする直前の操作（指令，設定）状態で運転を継続します。

以下に，状態の確認方法と，チリングユニットの取扱方法について記します。

[1]状態の確認方法

リモコン線の断線，ショートの状態は，チリングユニットの制御箱内の基板上のLEDの点灯状態によりチェックすることができます。



基板全体図

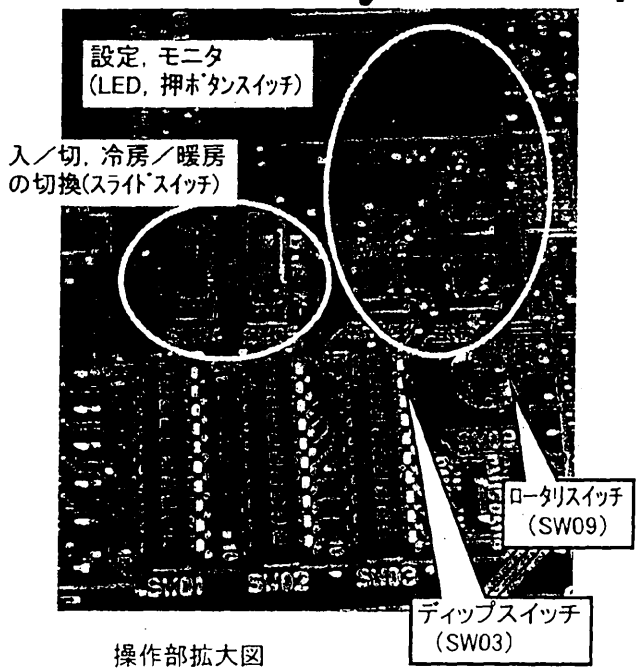
LD3の点灯，消灯の状態により，リモコン線の状態は下記のようになります。

・LD3が点灯 → リモコン線の断線の恐れあり。

・LD3が消灯 → リモコン線のショートの恐れあり。

上記のいずれの場合も，制御箱内の端子台（A，B）から，リモコンまでの配線状態の確認を行ってください。

[2]チリングユニットの操作



操作部拡大図

リモコンが使用できない間，チリングユニットの操作は，"手元"モードで行ってください。

1) ﾛｰﾀﾘｽｲｯﾁを"4"(ﾘﾓｺﾝ使用)→"1"(手元)に変えます。

2) ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの運転を停止させる場合は，ｽﾗｲﾄﾞｽｲｯﾁ(SW04)を"入→切"にします。

3) モニタや設定の各操作を行う場合は，基板上のスイッチ類を使用して行います。（詳細手順は，ﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄの取扱説明書をご参照ください。）
   - 4桁LED
   - ﾃﾞｨｯﾌﾟｽｲｯﾁ（SW03－1～3番）
   - 押ﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ（SW06，SW07，SW08）
   - ｽﾗｲﾄﾞｽｲｯﾁ(SW05：冷暖切換)

4) 再度リモコンからの操作を受付けられるようにするには，ﾛｰﾀﾘｽｲｯﾁを"1"(手元)→"4"(ﾘﾓｺﾝ使用)にします。
なお，リモコン線の状態が復旧すれば，基板からリモコンに給電された時点で，リモコンの表示は出るようになりますが，ﾘﾓｺﾝからﾁﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄへの操作は，ﾛｰﾀﾘｽｲｯﾁを"4"にした時点で初めて有効になります。

＜付録＞

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内

■修理窓口（三菱電機ビルテクノサービス株式会社）

東京都、山梨県
東京冷熱ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙｾﾝﾀｰ　〒105-0011　港区芝公園 2-4-1(秀和芝ﾊﾟｰｸﾋﾞﾙ内)
03(3436)1194　ＦＡＸ 03(3436)4402

東京都町田市、神奈川県、静岡県東部（富士川以東）
横浜冷熱ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙｾﾝﾀｰ　〒221-0801　横浜市神奈川区神大寺 3-33-12
東京都町田市、神奈川県　045(681)1194　ＦＡＸ 045(311)8204
静岡県東部 沼津・富士地区　0545(65)1194　ＦＡＸ 045(311)8204
熱海・伊豆地区　0557(81)1194　ＦＡＸ 045(311)8204

愛知県、岐阜県、三重県、静岡県西部（富士川以西）
中部冷熱ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙｾﾝﾀｰ　〒460-0008　名古屋市中区栄 3-18-1(ナディアパークビル 17 階)
052(243)1194　ＦＡＸ 052(243)1261

大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、兵庫県
大阪冷熱ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙｾﾝﾀｰ　〒532-0005　大阪市淀川区三国本町 1-3-4
06(6391)8531　ＦＡＸ 06(6391)8545

香川県、愛媛県、高知県、徳島県
四国冷熱ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙｾﾝﾀｰ　〒760-0017　高松市番町 1-6-1（住友生命高松ビル 13 階）
087(811)0007　ＦＡＸ 087(811)1606

北 海 道 地 区

札幌、苫小牧地区
北海道冷熱ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙｾﾝﾀｰ　〒003-0026　札幌市白石区本通２０丁目南４―2
011(862)1180　ＦＡＸ 011(862)9497

旭川　〒070-0034　旭川市 4 条通 9-1703(旭川北洋ﾋﾞﾙ6 階)
0166(25)1800
函館　〒040-0001　函館市五稜郭町 1-14(住友生命五稜郭ﾋﾞﾙ6 階)
0138(51)8699
帯広　〒080-0012　帯広市西 2 条南 9-1(ﾎｼﾋﾞﾙ5 階)
0155(24)1669
釧路　〒085-0015　釧路市北大通 8(釧路道銀ﾋﾞﾙ4 階)
0154(22)8184
北見　〒090-0024　北見市北 4 条東 1-11(双進ﾋﾞﾙ4 階)
0157(22)0304

東 北 地 区

宮城県
東北冷熱ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙｾﾝﾀｰ　〒980-0804　仙台市青葉区大町１―１―３０（新仙台ビル３階）
022(224)1330　ＦＡＸ 022(224)1343

青森　〒030-0861　青森市長島 2-10-4(ヤマウビル5 階)
017(722)7718
八戸　〒031-0086　八戸市八日町 36(第一ビル5 階)
017(845)7289
盛岡　〒020-0024　盛岡市菜園 1-3-6(農林会館 6 階)
019(653)3732
山形　〒990-0043　山形市本町 2-4-3(本町ビル4 階)
023(642)0359
秋田　〒010-0001　秋田市中通 2-3-8(アトリオンビル8 階)
018(836)7880
郡山　〒963-8877　郡山市堂前町 6-7(郡山フコク生命ビル2 階)
024(922)8959
福島　〒960-8031　福島市栄町 6-6(ユニックスビル10 階)
024(523)2636
いわき　〒970-8026　いわき市平大町 7-2(明治生命いわきビル3 階)
024(624)2120

東 関 東 地 区

千葉県
東関東冷熱サービスコールセンター　〒260-8611　千葉市中央区栄町 36-10(住友商事千葉ビル内)
047(431)1194　　ＦＡＸ 043(224)8290
茨城　〒300-0045　土浦市文京町 5-4(阿部ビル2 階)
0298(24)1880

北 関 東 地 区

埼玉県
北関東冷熱サービスコールセンター　〒330-0846　大宮市大門町 3-197(星野第 2ビル2 階)
048(650)1194　　ＦＡＸ 048(657)2163
前橋　〒371-0024　前橋市表町 2-9-9(明治生命前橋ビル 5 階)
027(223)3861
宇都宮　〒320-0811　宇都宮市大通り 3-1-17(大津屋ビル4 階)
028(635)7231
長野　〒380-0921　長野市栗田源田窪 1000-1(長栄長野東口ビル4 階)
026(267)7200
松本　〒390-0874　松本市大手 3-4-5(明治生命ながぎんビル5 階)
0263(32)6539

北 陸 地 区

北陸冷熱サービスコールセンター　〒930-0083　富山市総曲輪 1-5-24(日本生命富山ビル6 階)
富山県　076(442)1194　　ＦＡＸ 076(432)5760
石川県　076(224)1194　　ＦＡＸ 076(432)5760
福井県嶺北地区　0776(21)1194　　ＦＡＸ 076(432)5760
福井県嶺南地区　0770(23)9194　　ＦＡＸ 076(432)5760
新潟　〒950-0087　新潟市東大通 2-2-18(タチバナビル5 階)
025(241)0508
長岡　〒940-0066　長岡市東坂之上町 3-2-6(日本生命長岡ビル5 階)
0258(35)5076

中 国 地 区

広島県、岡山県

中国冷熱ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙｾﾝﾀｰ　〒730-0051　広島市中区大手町 2-11-10
(NHK 広島放送ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ内)
082(541)1194　　ＦＡＸ 082(248)1090

松江　〒690-0007　松江市御手船場町 553-6(松江駅前ｴｽﾄﾋﾞﾙ内)
0852(23)3002

米子　〒683-0067　米子市東町 234(明治生命米子開発ﾋﾞﾙ内)
0859(32)1020

鳥取　〒680-0846　鳥取市扇町 7(鳥取ﾌｺｸ生命駅前ﾋﾞﾙ2 階)
0857(26)4410

山口　〒750-0025　下関市竹崎町 4-1-22(ｱｸｻ下関ﾋﾞﾙ内)
0832(31)6919

徳山　〒745-0036　徳山市本町 1-3(大同生命徳山ﾋﾞﾙ9 階)
0834(21)9075

山口東 〒753-0048　山口市駅通り 1-3-16(共立ﾋﾞﾙ内)
083(921)0920

九 州 地 区

福岡県、佐賀県

九州冷熱ｻｰﾋﾞｽｺｰﾙｾﾝﾀｰ　〒812-0042　福岡市博多区豊 1-9-71
092(471)1194　　ＦＡＸ 092(474)8298

北九州 〒802-0001　北九州市小倉北区浅野 3-8-1(ｱｼﾞｱ太平洋ｲﾝﾎﾟｰﾄﾏｰﾄ内)
093(551)2937

久留米 〒830-0017　久留米市日吉町 16-18(久留米ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ内)
0942(34)6730

長崎　〒850-0033　長崎市万才町 3-5(朝日生命長崎ﾋﾞﾙ7 階)
0958(26)8301

佐世保 〒857-0863　佐世保市三浦町 2-8(佐世保明治生命会館 6 階)
0956(24)7718

熊本　〒860-0805　熊本市桜町 2-17(第 2 甲斐田ﾋﾞﾙ3 階)
096(356)6231

大分　〒870-0035　大分市中央町 1-1-5(大分第一生命ﾋﾞﾙ3 階)
097(537)7191

宮崎　〒880-0812　宮崎市高千穂通 2-5-32(日本生命宮崎駅前ﾋﾞﾙ9 階)
0985(23)3883

鹿児島 〒892-0842　鹿児島市東千石町 1-38(鹿児島商工会議所ﾋﾞﾙ)
099(226)1912

沖縄　〒900-0015　那覇市久茂地 1-3-1(久茂地ｾﾝﾄﾗﾙﾋﾞﾙ)
098(866)1175

■ご相談窓口

●三菱電機冷熱相談センター（月～金曜日 9：00～19：00、祝祭日を除く）

（フリーダイアル） 0120－39－2224

通常電話（携帯電話対応）（073）427－2224

FAX（365日・24時間受付）

（フリーダイアル）0120－64－2229

（通常FAX） （073）428－2229

〒640-8686 和歌山市手平6—5—66

三菱電機チリングユニット

チリングユニット用リモコン RP－16CA 取扱説明書

CA(H)－P1180C～P3550C形
CA(H)－J1180C～J3550C形 用

三菱電機株式会社

お問い合わせは下記へどうぞ

住環境事業北海道営業本部／(株)三菱電機ライフファシリティーズ 北海道(本社)	〒004-8610	札幌市厚別区大谷地東 2-1-11	(011)893-1342
冷熱電住事業東北営業本部／(株)三菱電機ライフファシリティーズ 東北(本社)	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町 2-2-33	(022)231-2785
冷熱システム事業部首都圏冷熱営業部	〒108-0074	東京都港区高輪 3-26-33(秀和品川ビル)	(03)5798-2160
北関東グループ	〒331-0043	大宮市大成町 4-298(三菱電機大宮ビル)	(048)662-3882
東関東グループ	〒260-0022	千葉市中央区神明町 13-1(大宗神明ビル)	(043)204-6401
神奈川グループ	〒231-0032	横浜市中区不老町 3-12-5(下山関内ビル)	(045)222-7721
新潟グループ	〒950-2023	新潟市小新字大通 3699-1(菱電社ビル)	(025)241-7224
冷熱電住事業中部北陸営業本部／(株)三菱電機ライフファシリティーズ 中部(本社)	〒461-0005	名古屋市東区東桜 1-4-3(大信ビル)	(052)972-7320
(株)三菱電機ライフファシリティーズ 中部(北陸冷熱住設営業部)	〒920-0811	金沢市小坂町西 81	(076)252-9935
冷熱システム事業部関西冷熱営業部	〒530-0005	大阪市北区中之島 2-3-18(新朝日ビル)	(06)6221-5702
冷熱電住事業中四国営業本部／(株)三菱電機ライフファシリティーズ 中四国(本社)	〒733-8666	広島市西区商工センター 6-2-17	(082)278-7001
(株)三菱電機ライフファシリティーズ 中四国 四国支店	〒761-1705	香川県香川郡香川町川東下 717-1(新空港通り)	(087)879-1530
冷熱電住事業九州営業本部／(株)三菱電機ライフファシリティーズ 九州(本社)	〒816-0088	福岡市博多区板付 4-6-35	(092)571-7014

この印刷物は，2001年10月の発行です。なお，お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。